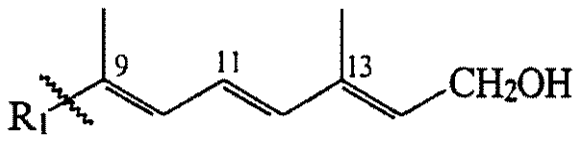
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

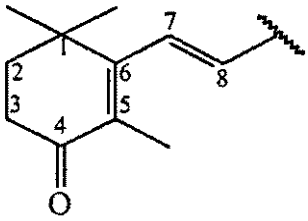
【公表番号】特表2002-527356(P2002-527356A)
【公表日】平成14年8月27日(2002.8.27)
【出願番号】特願2000-559835(P2000-559835)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/59　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 8/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　 5/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/07　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/06　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/14　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/59
Ａ６１Ｋ　 7/06
Ａ６１Ｋ　 7/48
Ａ６１Ｋ　31/07
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　17/06
Ａ６１Ｐ　17/14
Ａ６１Ｐ　43/00

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月8日(2006.8.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　ビタミンＤ類似体およびレチノイドを含む組成物であって、
(a)ビタミンＤ類似体はビタミンＤ受容体に結合し得る；および
(b)レチノイドは、アルコールCH_2OH末端側鎖を有するレチノイドＤ、末端側鎖にエステルを有するレチノイドＤ、末端側鎖にエーテルを有するレチノイドＤ、および末端側鎖にアルデヒドを有するレチノイドＤからなる群から選択され、
アルコールCH_2OH末端側鎖を有するレチノイドＤは、式：
【化１】



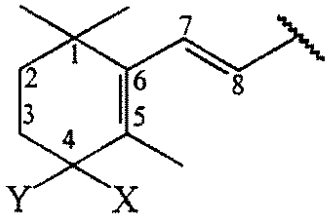
[式中、７－、９－、１１－および１３－位の二重結合における立体配位は、独立して、ＺまたはＥであり、R_1は、

【化２】



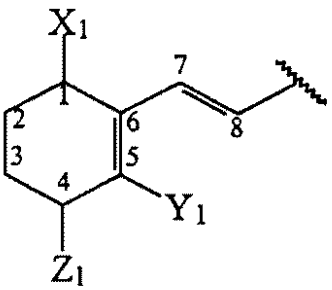
(式中、４－位のケト基は遊離もしくは保護されているか、または、遊離もしくは保護されているチオケトン基で置換されているか、またはＣ$_{1-6}$－アルキリデン基で置換されている)；

【化３】



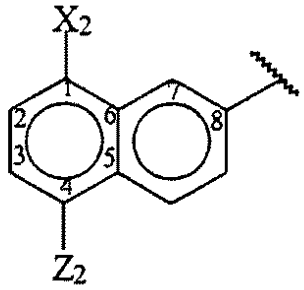
(式中、Ｘは、水素およびＣ$_{1-6}$－アルキルからなる群から選ばれ；Ｙは、Ｃ$_{1-6}$－アルキル、ヒドロキシル、ハライド、アジド、スルフヒドリル、アミンおよびＣ$_{1-6}$－アルキル置換アミノからなる群から選ばれ；ここで、４位の絶対配置は、独立してＲまたはＳである)；

【化４】



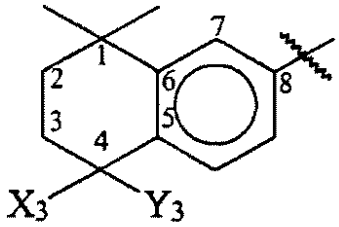
(式中、Ｘ$_1$、Ｙ$_1$は、独立して、水素、Ｃ$_{1-6}$－アルキル、ヒドロキシル、ハライド、アジド、スルフヒドリル、アミンおよびＣ$_{1-6}$－アルキル置換アミノからなる群から選ばれ；Ｚ$_1$は、Ｃ$_{1-6}$－アルキル、ヒドロキシル、ハライド、アジド、スルフヒドリル、アミンおよびＣ$_{1-6}$－アルキル置換アミノからなる群から選ばれる)；

【化５】



(式中、Ｘ$_2$は、水素、Ｃ$_{1-6}$－アルキル、ヒドロキシル、ハライド、アジド、スルフヒドリル、アミンおよびＣ$_{1-6}$－アルキル置換アミノからなる群から選ばれ；Ｚ$_2$は、

C_{1-6}－アルキル、ヒドロキシル、ハライド、アジド、スルフヒドリル、アミンおよびC_{1-6}－アルキル置換アミノからなる群から選ばれる)；
【化６】



(式中、X_3およびY_3は、独立して、水素、C_{1-6}－アルキル、ヒドロキシル、ハライド、アジド、スルフヒドリル、アミンおよびC_{1-6}－アルキル置換アミノからなる群から選ばれるが、ただし、X_3およびY_3の両方ともは水素でない)
からなる群から選ばれる]
を有することを特徴とする組成物。

【請求項２】　請求項１記載の局所用組成物。

【請求項３】　レチノイドがアルコールCH_2OH末端側鎖を有するレチノイドＤである、請求項１記載の組成物。

【請求項４】　レチノイドが４－オキソ－レチノール、４－オキソ－レチナール、４－オキソ－レチニルエステル、４－ヒドロキシ－レチノール、４－ヒドロキシ－レチナールおよび４－ヒドロキシ－レチニルエステルからなる群から選ばれる、請求項１記載の組成物。

【請求項５】　ビタミンＤ類似体が、コレカルシフェロール、カルシフェディオール、カルシトリオール、カルシポトリオール、エルゴカルシフェロール、ジヒドロタキステロール、１,２５－ジヒドロキシエルゴカルシフェロール、および２５－ヒドロキシジヒドロタキステロールからなる群から選ばれる、請求項１記載の組成物。

【請求項６】　ビタミンＤ類似体が、カルシトリオールである、請求項１記載の組成物。

【請求項７】　ビタミンＤ類似体が、カルシポトリオールである、請求項１記載の組成物。

【請求項８】　レチノイドが４－オキソ－レチノールである、請求項１記載の組成物。

【請求項９】　ビタミンＤ類似体が、カルシトリオールまたはカルシポトリオールであり、レチノイドが４－オキソ－レチノールである、請求項１記載の組成物。

【請求項１０】　ビタミンＤ類似体の濃度が、組成物全重量の約０．０００１重量％から約１０重量％であり、レチノイドの濃度が組成物全重量の約０．００１重量％から約１重量％である、請求項２記載の組成物。

【請求項１１】　医薬用の、医薬上許容される形態である請求項１～１０記載の組成物。

【請求項１２】　ビタミンＤ類似体とレチノイドとを別々に投与する医薬用の、医薬上許容される形態である請求項１～１０記載の組成物。

【請求項１３】　正常でない細胞増殖および／または細胞分化を特徴とする障害に罹っている患者の処置用医薬を調製するための、請求項１～１０のいずれか１項に記載の組成物の使用。

【請求項１４】　障害が乾癬である、請求項１３記載の使用。

【請求項１５】　乾癬、ざ瘡、湿疹、酒さ、光線性角化症、脂漏性皮膚炎および先天性角化症からなる群から選ばれる障害に罹っている患者の処置用医薬を調製するための、請求項１～１０のいずれか１項に記載の組成物の使用。

【請求項１６】　障害が湿疹である、請求項１５記載の使用。

【請求項１７】　乾燥肌、光損傷肌、老人性斑点、老人性皮膚、進行性角質層屈曲、しわ、細線、光線性しみ、皮膚異常変色および魚鱗癬からなる群から選ばれる１つまたはそれ以上の皮膚の症状の処置用医薬を調製するための、請求項１～１０のいずれか１項に記載の組成物の使用。

【請求項１８】　正常でない細胞増殖および／または細胞分化を特徴とする障害に罹っている患者の処置用にビタミンＤ類似体およびレチノイドを医薬上許容される別々の投与状態で調製するための請求項１～１０のいずれか１項に記載のビタミンＤ類似体およびレチノイドの使用。

【請求項１９】　障害が乾癬である、請求項１８記載の使用。

【請求項２０】　乾癬、ざ瘡、湿疹、酒さ、光線性角化症、脂漏性皮膚炎および先天性角化症からなる群から選ばれる障害に罹っている患者の処置用にビタミンＤ類似体およびレチノイドを医薬上許容される別々の投与形態で調製するための請求項１～１０のいずれか１項に記載のビタミンＤ類似体およびレチノイドの使用。

【請求項２１】　障害が湿疹である、請求項２０記載の使用。

【請求項２２】　乾燥肌、光損傷肌、老人性斑点、老人性皮膚、進行性角質層屈曲、しわ、細線、光線性しみ、皮膚異常変色および魚鱗癬からなる群から選ばれる１つまたはそれ以上の皮膚の症状の処置用にビタミンＤ類似体およびレチノイドを医薬上許容される別々の投与形態で調製するための請求項１～１０のいずれか１項に記載のビタミンＤ類似体およびレチノイドの使用。

【請求項２３】　請求項１～１０のいずれか１項に記載の組成物を含む、正常でない細胞増殖および／または細胞分化を特徴とする障害の治療剤。

【請求項２４】　障害が乾癬である、請求項２３記載の治療剤。

【請求項２５】　請求項１～１０のいずれか１項に記載の組成物を含む、乾癬、ざ瘡、湿疹、酒さ、光線性角化症、脂漏性皮膚炎および先天性角化症からなる群から選ばれる障害の治療剤。

【請求項２６】　障害が湿疹である、請求項２５記載の治療剤。

【請求項２７】　請求項１～１０のいずれか１項に記載の組成物を含む、乾燥肌、光損傷肌、老人性斑点、老人性皮膚、進行性角質層屈曲、しわ、細線、光線性しみ、皮膚異常変色および魚鱗癬からなる群から選ばれる１つまたはそれ以上の皮膚の症状の治療剤。

【請求項２８】　ビタミンＤ類似体およびレチノイドが別々の医薬的に許容される製剤で投与されることを特徴とする、請求項２３～２７のいずれか１項に記載の治療剤。